因島高校を支援する会

発行 因島高校を支援する会
会長 竹中啓修
事務局：因島高校ＰＴＡ
☎08452-4-1281
題字 竹中啓修

因島高校を支援する会
平成15年度 第1回役員会開く

平成15年7月14日(月)、土生町、日立労働会館にて、「因島高校を支援する会」平成15年度第1回役員会が、村上和弘因島市長、宮地康福教育長を来賓に迎えて、行われました。

村上和弘因島市長挨拶

支援する会の地道な活動を心強く嬉しく思っています。地域を愛し、子供達を愛する気持ちが通じ、因島高校も良くなってきた。

因島市としても、議会や教育委員会と協議しながら、可能な限り、応援努力していきたい。

宮地康福教育長挨拶

中学校で活躍努力している生徒がいる。ぜひ、因島高校の先生方は、「因島高校に入学して共に頑張ろう。」と、声をかけてほしい。村上水軍の青影城の登り口の石碑に燿古騰今という言葉があります。古くを耀かせて、新しきを高める。という意味であるが、そのようになってほしいと願っています。

松林博文校長挨拶

本校を支えていただき、感謝しています。本校の現状は一日の太陽に例えれば、朝10時頃の太陽です。まだ朝の寒さは多少残ってはいますが、確実に昇りつつある太陽です。これから11時・12時と真昼の太陽にしていかなくてはならない責務を強く感じています。

その後、議事にはいり、事業報告と決算報告がなされた。

新年度の役員が承認されました。

新年度の事業計画

新年度の事業計画については、次の通り、審議了承された。

1. 海外語学研修

岡野ＰＴＡ会長、松林校長より、要望書が出された。

海外語学研修（平成14年）

今年度は、平成16年3月中旬～下旬の日程で、オーストラリア・ブライビー島へ、語学研修を実施する。参加者は、生徒15名、引率者1名とする。

今後の実施計画は、
9月　研修日程決定。
10月　募集開始。
12月募集締切参加者決定。
1・2月　事前学習。
3月　語学研修実施。
3月事後指導、感想文提出。

研修費は一人あたり約30万の見込みであり、生徒一人あたり10万、計150万を、支援することとした。（同額が、因島市より、支援する会に助成されます。6月臨時市議会にて、予算決定。）

今年度オーストラリアからの研修受入日程は未定。

2. サテライン衛星放送

東京の大手予備校の授業を衛星放送で受講できるというもので、学校・ＰＴＡ・同窓会が、協力して導入。春休み、夏休み、および学期中の小論文講座は、13年度から開設され、土曜が、学校休日となった14年度からは、スーパーサタデーと名前を付けて土曜日のサテラインが実施されている。

「生徒のイメージする授業のパターンを打破するような漸進な講座内容と認識しており、生徒も刺激を受け、熱心に勉強するようになった。」と英語担当の先生は話しています。

受信契約料が高額なため、通常サテラインに300万、スーパーサタデーに300万、同窓会、ＰＴＡの協力で、基金を設けました。

竹中会長は、「生徒が理解不足のため、受講者が大幅に減少して赤字幅がふくらんだ。もっと、生徒にＰＲして受講生をふやすなど知恵を出して、同窓会の寄付金を有意義に使ってほしい。」と話しています。

3. 学校スポーツ支援

体操部をはじめ各クラブが活躍しているが、今年から野球部の学校主体の応援が実施されることになり、吹奏楽部の出演も決まった。今後もクラブ活動の育成に対して協力推進したい。

松浦真博野球部ＯＢ会長は、「因島北高校の野球部在籍中、全国大会に出場できたことは、いい体験であったと思う。現在、仕事や、他の事についても、なにくそと、頑張れるのは、野球を一生懸命やったおかげだ。現在、因島高校では、クラブの加入率が低いと聞き、残念。」とクラブ活動の重要性について、話されました。

4. 広報活動

会報発行により、市民のみなさんに、関心を持ってもらい、因島高校をみんなで守ろうという意識も高まってきていると思う。

昨秋に開設したホームページは遠隔地の同窓生などから好評であり、アクセスの件数も次第に増えており、関心の高さが伺えます。

5. 関連団体との連携活動

今後も高校ＰＴＡを中心に、同窓会、市Ｐ連合会、因島青年会議所、教育委員会などと連携を取りながら、進めていきたい。

会議終了に際し、次の通り、挨拶があった。

藤本進教頭

特進クラスを設置したが、模擬試験の点も高く、国公立を目指す生徒も例年より多く、効果が現れつつあり，喜ばしいことです。

岡野長寿ＰＴＡ会長

今年は、学校あげて野球の応援に行くことになり、50人の生徒が、1週間、応援や吹奏楽の練習を行い、盛り上がってきており、愛校心や友情が芽生えてきた。大変いいことである。

今までＰＴＡが進めてきた改革のレールを軌道に乗せていきたい。勉強の成果も期待している。みなさんの協力をお願いします。

因島高校に思う

因島高校を支援する会　会長　竹中啓修

会長
竹中啓修

「因島高校を支援する会」ができて、4年目を迎えます。会報も、本号をもって17号目を迎え、区長会のご協力により市内全戸配布できて感謝しています。

本会の設立当時は、学校も、生徒も、同窓会も、二校が一校になる生みの苦しみを感じていた頃です。また、名誉ある母校の立て直しに多くの方々がその方策を模索していた頃でもありました。生徒の様子といえば、茶髪や金髪の頭、黒い髪が珍しいくらいで、服装も乱れて、登校時の遅刻も非常に多く、校内規律が確立されているとは言い難い状態が一部でありました。市民の皆様からは避けてとおるような、言葉も何度か聴かされました。

しかし、ＰＴＡ・心ある学校の教員・同窓会・市Ｐ連などの「よい学校にしたい」という情熱と行動により、今では心配することも少なくなりました。しかし、残念なことは、むしろ、小・中学生の中に茶髪などをしばしば見かけます。小さい頃からの「躾」が大切です。

今、因島高校では、総合学科の特性を生かしたカリキュラムによる授業を実施しております。特進学級は今年で2年目に入り、模擬試験などでは確実に成果を出しており、近くの進学校と比べても好成績を収めています。第二に、代々木ゼミのサテライン講座は、実施して3年目ですが、高い学力水準に到達するように頑張っており、年々その数値も上がりつつあります。

また、海外語学研修でありますが、2年目の今年は、昨年に引き続き夏季休業中に実施予定でしたが、新型肺炎（SARS）の影響で、万が一の事を考え、春季休業に実施する事といたしました。

最後になりますが、新生因島高校が、近い将来、先輩によって培われた輝かしい道を、再び歩むことを信じております。暖かいご支援を戴きますようお願いします。

因島高校同窓会のお知らせ

8月15日(金)
11:00　総　会
（市民会館中ホール）
12:00　懇親会
（芸予文化情報センター）
会費　2,000円

因島高校を支援する会 事業報告

平成14年4月1日から平成15年3月31日

(1)因島高校を支援する会 会報の発行

14年4月・6月・8月・10月・15年1月・2月
会報（第8号～第13号）発行

(2)海外語学研修（ホームステイ）の実施支援

13年8月
海外語学研修について、検討開始。
海外研修実施高校をＰＴＡが中心となり、訪問・研究。

13年12月
因島市に助成金陳情

14年2月
オーストラリア、ブラービー高校に事前視察
（桶東校長、村上正則ＰＴＡ会長他総勢9名）

14年3月
因島市助成金決定（総額200万のうち150万は15名分の研修助成）

14年5月
生徒対象に説明会、募集開始

14年6月
生徒17名応募。審査の結果、17名合格とし、2名不足分および引率教諭分、雑費等含めて、ＰＴＡが80万支出を決定。

14年7月
研修予定生徒の事前講習。
（担当冠教諭）

14年7月
市役所にて壮行会開く。市長、議長より激励のことば。

14年8月
オーストラリアに2週間の予定で出発。（生徒17名）
（引率教諭2名）

14年8月
市長に帰国報告。

14年9月
出身中学にて報告会、順次開催。

(3)オーストラリア生徒の受け入れ支援

14年11月
オーストラリア、ブライビー高校より生徒訪問の希望あり。ＰＴＡ受入れ実行委員会で準備、会議5回開催。

15年3月
オーストラリア、ブライビー高校生徒受入れ。
4家族にてホームステイ。
（生徒3名、引率教諭1名）

(4)衛星放送サテラインの実施

スーパーサタデー（土曜衛星放送サテラインの実施、支援）
夏休暇、春休暇の衛星放送サテライン実施、支援

(5)学校スポーツ振興

野球部夏の予選大会出場支援（3回戦まで進出）
高校野球応援体制の充実を、学校に申し入れ（15年度より学校中心に応援団、吹奏楽部員は公休扱いにて結成参加が決定。）
体操部田頭君激励（横断幕作成、設置）

(6)しまなみ海道ＰＴＡ連絡会議（ＰＴＡ主催）の支援

7月開催。因島、瀬戸田、弓削、大三島、伯方、大島高校。

(7)会議

7月、支援する会役員会開催。

(8)ホームページ作成開設

(9)就職内定者テーブルマナー講習会 支援

15年2月、ナテイークにてＰＴＡが主催。

(10)学校開放講座（ＰＴＡ主催）の支援

1. 天体観測教室（14年8月、10月、12月）
2. 陶芸教室（14年11月、15年1月）
3. 家庭生活での看護研修会（15年3月）

高校野球 広島県予選
因島高校、舟入高校に惜敗
学校から初「応援団・吹奏楽団」大活躍

7月16日、因島高校は、広島市民球場にて、舟入高校と対戦しました。選手諸君は、全員よくがんばりましたが、残念ながら、惜敗しました。しかし、今年度、因島高校始まって以来の学校挙げての応援団が組織され、吹奏楽部も演奏参加し、声援を送りました。グランドの選手の励みになりました。選手と応援団、吹奏楽部、保護者、教員、みんなが一体となり、愛校心も大きく芽生えたことと思います。

みなさんにお礼

野球部保護者会 会長　藤原　邦雄

今年は、学校挙げての応援をいただきありがとうございました。昨年、保護者会を作り、PTAとともに、学校にお願いしました。実現までには、紆余曲折ありましたが、関係者のご尽力に感謝いたします。吹奏楽部のみなさんのすばらしい演奏、力強い応援団の熱意は、選手にも充分伝わったと喜んでいます。

また、監督の渡邊興司さんには、お願いして短い期間ながらも、生徒をここまで育ててくださったことに保護者としてお礼申し上げます。

毎朝6時からの早朝練習も、子供たちも進んで参加練習していたようですが、これも渡邊監督の厳しいながらも生徒の自主性、向上心を育んでいただいたおかげと感謝しています。ありがとうございました。

野球のマネージャーを終えて

箱崎　友香

私は野球が大好きで2年のころからよく試合や練習を見ていたこともあって、松浦先生から、「マネージャーになって球場で、プラカードを持って歩いてほしい。」と言われてマネージャーをすることにしました。

はじめは何をしていいかわからず、部員のみんなの練習を見ていました。

夏になって、3年生の最後の試合が近づき、対戦相手も、舟入高校に決まり、練習にも今までとは違った雰囲気で、みんなの「舟入高校戦を最後の試合にしたくない。初戦を突破したい。」という気持ちが伝わってきました。

試合は、残念ながら舟入高校に負けて3年生は全員引退しましたが、この試合は今までで、一番グランド、ベンチ、そしてスタンドの気持ちがひとつになったすばらしい試合だったと思います。3年生の皆さん本当に3年間お疲れ様でした。

これからは、野球のがんばりを自分の進路に役立ててください。

最後になりましたが、監督はじめ指導者の方々には本当にたくさん心配や迷惑をかけ言葉に表せないほど感謝しています。渡邊監督には、毎日指導に来ていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

私も短い期間でもマネージャーをしてたくさん思い出を作ることができ、よかったです。ありがとうございました。

3年生の選手に感想を聞きました

藤原康洋キャプテン

今まで野球を支援してくれた人たちにとても感謝しています。これからも野球部を支援してくださいますようお願いします。本当にありがとうございました。

薬師寺芳紀選手

今でも僕の心の中でみんな輝いています。ありがとう。

柏原正樹選手

さまざまな人が支えてくださったからこそ、この3年間野球をがんばれたと思っています。ありがとうございました。

岡野孝平選手

応援ありがとうございました。

舟橋紀明選手

一生懸命練習した3年間の集大成で楽しく試合ができ、満足しています。今はもう負けてしまって高校で野球はできないと思うと、とても残念です。もっともっと大好きな野球がしたかったです。

村上敬一選手

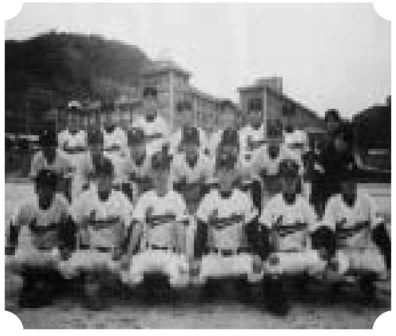
指導者の方々には言葉に言い表せない程感謝しています。本当にありがとうございました。

村上聖和選手

みんな一丸となって野球ができてよかったです。

小林慶之選手

応援ありがとうございました。



「星空散歩の会」のお誘い

昨年度の「星を見る会」

因島高校PTAでは、今年も、学校開放講座として、「天体観測・星空散歩の会」を行います。ご家族連れで、お楽しみください。

昨年に引き続き、講師をしてくださる、村上元信さん（OB・元PTA役員）は、「因島高校に最新鋭の望遠鏡が設置され、生徒だけでなく広く一般の人にも開放し、星空を楽しんでいただきたい。

今年は、火星の大接近ということで、年末から来年にかけて各国の探査機が着陸し、多くの情報がもたらされるでしょう。」と話しています。

☆9月26日(金)　19：30～
星を見る会
★10月31日(金)　19：30～
月見会
☆12月未定
土星・火星を見る会

吹奏楽部「活動開始！」

吹奏楽部保護者会　江藤　真智子

指導をしてくださる先生は非常勤音楽教師の元広美由紀先生に決まりました。「非常勤教師」という立場でありながら、吹奏楽部を見てくださることにとても感謝しています。

（「非常勤教師」とは、1時間ごとの授業に対して給料が支払われるそうです。夏休みは、授業がないので、給料はありません。）

7月9日…期末試験終了後、吹奏楽部員と、元広先生が顔合わせをして、これからの活動について話し合いをしました。

野球部の応援についても、元広先生は、すぐに曲を決めて応援の練習を開始しました。

少ない日数、練習時間ではありましたが、部員は一生懸命練習し、7月16日の本番を迎えました。はじめは緊張していた部員達、回が進むに連れ野球部の選手と一体となり、「頑張れ！あきらめるな！」と必死に応援していました。楽器の音にもその思いは伝わったかのようでした。

試合終了後、「くやしいね。」「よく頑張った。」など自分達が試合をしたかのように話をしていた吹奏楽部員たち。応援に行った部員達は、みな充実感に満ちた顔をしていました。

「友達を応援したい。」という仲間意識は子ども達の中に根付いていることをうれしく思うと同時に「大人が子どもの世界に口出しする必要なし」と感じました。

引率してくださった顧問の杉本先生、橋口先生、お世話になりました。

元広先生は、当日授業があったので、部員達と一緒に行くことができませんでした。これが「非常勤教師」という立場ゆえ、行きたくてもいけなかったのです。

部員達、元広先生、顧問の先生、保護者は3月に行われていた「定期演奏会」をぜひともOB、OGの力をお借りして、続けたいと思っています。今までのように「市民会館」で演奏会ができますようにご支援ご協力をお願いします。

野球部ＯＢ会設立される

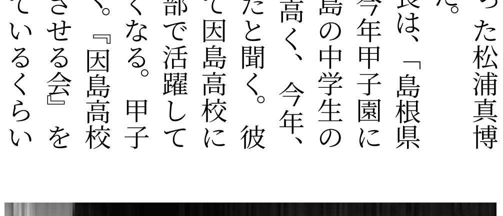
このたび、因島高校野球部、因島北高校野球部のOBが会を設立し、現役の野球部を応援支援することになった。

会長には、昨年度PTA副会長、野球部保護者会副会長で、今回のOB会設立の発起人となった松浦真博さんが選ばれた。

松浦真博会長は、「島根県の隠岐高校が今年甲子園に出場した。因島の中学生の野球レベルは高く、今年、広島県優勝したと聞く。彼らが、まとめて因島高校に入学して野球部で活躍してくれれば、強くなる。甲子園に一歩近づく。『因島高校を甲子園に出させる会』を作ろうと思っているくらいだ。」と話しています。

各年代の野球部の名簿が不明のため入会を募集中です。連絡ください。

連絡先は、因島高校（野球部OB会事務局）岡野善博先生まで（電話　高校4-1281）



因島北高校軟式野球全国大会出場（昭和53年）

同窓生のみなさまにご注意

因島高校・因島高校 同窓会

次のような電話が多くかかっているようですが、同窓会や学校とは無関係ですから、ご注意ください。

①就職できたか？まだなら世話をするが、携帯電話の番号（または現住所）を教えてほしい。相手の名前を名乗らない場合と、「因島高校のハセガワ」と名乗る場合あり。（因島高校にはハセガワはいません。）

②同窓会役員の名前をかたって、「子どもさんの携帯電話（現住所）を教えてほしい。」

③「高校の事務室から電話しているが」と前置きして「子どもさんの携帯電話（現住所）を教えてほしい。」

④M先生が入院しているがお見舞いに行くので、○千円送ってほしい。

①②③は比較的若い年代（大学の3・4年生）の自宅に（直接本人の場合もある。）電話をかけています。

④は、M先生を知っている年代にかけているようです。

もし、このような事例に会われましたら、同窓会事務局、因島高校へ直接連絡してください。

ライブフェスティバル

8月13日(水)　10時から、大浜町アメニテイ公園において、近隣の高校生・大学生ら15グループが、ライブ・フェスティバルを行います。因島高校生は、バンド名「はっさく」（岡野裕次郎君ほか4名）と、「ラズベリー」（大黒廷仁君ほか4名）が出演します。空と海いっぱいのステージで若者の熱い思いで始まり、今年で4回目となりました。舞台設置やポスター・チラシの配布も生徒達が手伝っています。

編集後記

▼高校野球、選手の生徒の皆さんよくがんばった。今年は、学校あげての応援、吹奏楽部の出場が初めて実現し、生徒間の友情、愛校心の醸成にもなったと思う。昨年来より、PTAや保護者会が叫んでいた他校並の姿になった。関係者のみなさんご苦労様でした。

▼ホームページの投書欄に、広範囲な意見が寄せられ関心の高さが伺える。学校やPTAには耳が痛いかもしれないが、無関心・無表情より、ありがたいと思うがいかがだろうか。